



# ☆☆ 電子納税のしかた（源泉所得税） ☆☆

国税電子申告・納税システム（e-Tax）の利用のための事前準備（裏面をご覧ください。）の後、電子納税が可能となります。

インターネットバンキングやA T Mを利用した源泉所得税の納付のしかたは次のとおりです。

## 1. 徴収高計算書データの作成・送信

e-Tax ソフト等を利用して徴収高計算書データを作成します。

開始届出書を提出し取得した「利用者識別番号」とe-Taxに登録した「暗証番号」を用いてe-Taxにログインし、作成した徴収高計算書データを送信します。

※ 納付すべき税額がない場合（納付税額0円）の徴収高計算書データについても送信することができます。

### 【お知らせ】


給与所得等の所得税徴収高計算書（納付書）の用紙につきましては、原則として、年末調整の時期に合わせて、源泉徴収義務者の皆様に税務署から送付させていただいております。

e-Taxを利用することにより納付書が不要となる方につきましては、e-Taxにより納付書データを作成する際に、「所得税徴収高計算書用紙の送付の要否」欄の「1 送付不要」を選択した上で、徴収高計算書データを送信していただくことにより、税務署からの納付書の送付を省略させていただきます。

## 2. 納付区分番号等の確認

e-Tax にログインし、利用者のメッセージボックスから「納付区分番号通知確認（受信通知）」の表示を行います。

画面の「インターネットバンキング」のボタンをクリックし、画面の案内に従い、お取引の金融機関を選択します。

なお、ATMを利用して納税する場合には、画面に表示された「収納機関番号」及び「納付区分」をお控えの上、（ペイジー）マークの表示があるATMで納税してください。

## 3. 金融機関への納付指図

インターネットバンキングのシステムにログインすると、払込情報が画面に表示されます。払込情報を確認し、払込を実行することにより、利用者の指定口座から払込金額が払い込まれ、電子納税が完了します。

※ 納付期限内に徴収高計算書データを送信した場合であっても、電子納税を記入後に行ったときは、期限後納付となりますのでご注意ください。

（注）金融機関によって画面は異なります。



# インターネットバンキングやATMで 源泉所得税が納付できます！

インターネットにアクセスできるパソコンをお持ちの方は、次の手順で事前準備を行うことにより、**国税電子申告・納税システム（e-Tax）**を利用した電子納税ができます。

## ご利用開始までの流れ

### ① 金融機関とインターネットバンキング等の契約をします。

お取引の金融機関で「税金・各種料金払込みサービス」（ペイジー）が提供されている必要がありますので、予め金融機関にご確認ください。

なお、インターネットバンキング等の契約をしていなくても、ペイジーマークの表示があるATMを利用して納税することができます。



### ② 所轄の税務署に開始届出書を提出して「利用者識別番号」を取得します。

「電子申告・納税等開始届出書」は、e-Tax ホームページの「ご利用メニュー」の「開始届出はこちら」メニューからオンラインで提出できます。オンラインで提出した場合、利用者識別番号がオンラインで即時に発行されます。

※ 「電子申告・納税等開始届出書」は書面でも提出できます。書面で提出した場合には、税務署から利用者識別番号及び暗証番号を記載した通知書等が送付されます。



### ③ パソコンにe-Taxソフトをインストールします。

e-Tax ソフト（e-Tax を利用するためのソフト）をインターネットに接続したパソコンにインストールして、電子納税の手続を開始します。「電子納税のしかた」は、2 ページをご覧ください。

※ e-Tax ソフトは、e-Tax ホームページからダウンロードしてください。詳しくは、e-Tax ホームページ（「e-Tax 導入マニュアル」）をご覧ください。



### ④ 電子証明書を登録します。

（e-Taxを源泉所得税などの「電子納税」に限り利用する場合は不要です。）

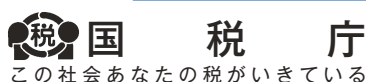
- 電子証明書を登録することにより、申告所得税、法人税、消費税及び地方消費税などの電子申告書や各種申請・届出の電子提出についてもご利用いただけます。
- 電子証明書は、地方公共団体、法務省又は民間の認証局等が発行します。e-Tax で使用可能な電子証明書については、e-Tax ホームページをご覧ください。

なお、電子証明書の具体的な取得方法及び費用については、各電子証明書の発行機関へお尋ねください。

※ IC カードタイプの電子証明書をご利用になる場合は、IC カードリーダーが必要になります。



詳しくは、e-Tax ホームページ ([www.e-tax.nta.go.jp](http://www.e-tax.nta.go.jp)) をご覧ください。



# e-Tax 推進委員会から会員の皆様方へ

## 税理士の代理送信による電子申告（e-Tax）の利用について

会員の皆様方には、平素から法人会活動に御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国税庁では、現在、政府全体として取り組んでいる電子政府の実現の一環として「国税電子申告・納税システム（e-Tax）」の普及拡大を進めています。

このe-Taxは、オフィスからインターネットを利用して申告や納税の手続きができるなど納税者の利便性の向上を図るものであるとともに、国税当局の事務の効率化を目的として取組まれているものであり、当法人会としても、全力を挙げて国税庁の方針に協力していくこととしております。

つきましては、会員の皆様方には、是非ともe-Taxの利用を始めていただきますようお願い申し上げます。

なお、e-Taxを利用して申告するには、貴社のパソコンから利用していただくこともできますが、「手続きが面倒」「パソコンが苦手」等とお考えの方もいらっしゃると思います。

そこで、**貴社の代わりに税理士が代理送信する方法**がありますので、是非とも、法人税、消費税、源泉所得税及び法定調書等の申告等の際には、貴社の顧問税理士に「e-Tax」での申告をお願いして頂きたいと存じます。

（「代理送信」とは、税理士が納税者に代わって電子申告することをいいます。）

### 税理士に代理送信を依頼すると？

- ◆ 納税者本人の住基カードなどの電子証明書を取得する必要がありません。
- ◆ 従来と同様に申告書作成に係る会社の手間はかかりません。
- ◆ 代理送信を依頼した手続き以外の「納税証明書」の発行サービスなどは法人自身による手続きが可能です。

